

平成21年度 高知大学公開講座

「自然と文化」ご案内

主 催 高知大学国際・地域連携センター生涯学習部門

共 催 土佐町教育委員会

日 時 第1回 8月28日(金) 午後6:45~8:30
第2回 9月4日(金) 午後7:00~8:30
第3回 9月11日(金) 午後7:00~8:30
第4回 9月18日(金) 午後7:00~8:30
第5回 9月25日(金) 午後7:00~8:45

場 所 第1回、第3回~第5回「土佐町保健福祉センター(あじさいホール)」、第2回「土佐町農村環境改善センター(農事研修室)」

*第1回、第3回~第5回と第2回目で会場が異なりますのでご注意ください。

講座タイトルと講師

第1回 食卓を囲む家族

人文学部 国際社会コミュニケーション学科 教授 まるい いちろう 丸井 一郎

第2回 納豆に学べ! ~自然のネバを社会に活かす~

農学部 農学科 食料科学 准教授 あしうち まこと 芦内 誠

第3回 高血圧の予防と治療

医学部 看護学科 地域看護学 教授 たかお としひろ 高尾 俊弘

第4回 子どもの心が育たない~集団行動がとれない子ども達~

医学部 医学科 小児思春期医学 教授・医学部長 わきぐち ひろし 脇口 宏

第5回 淡水魚の地理的な違い~放流をどう考えるか~

農学部 農学科 海洋生物生産学 教授 せき しんご 関 伸吾

募集人員 30人

受講される方にはテキストを頒布し、3回以上出席された方には修了証書を授与します。

お申し込み 土佐町教育委員会事務局(TEL0887-82-0483)へ、8月26日(水)までにお申し込みください。

受講料 1講座500円

少しだけ、高知大学国際・地域連携センター、生涯学習部門のCM

高知大学国際・地域連携センター、生涯学習部門では、いろいろな学習の場を提供しています。なんでも、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先: 高知大学国際・地域連携センター生涯学習部門

TEL: 088-844-8555 FAX: 088-844-8556

E-mail: sakamoto@cc.kochi-u.ac.jp (坂本)

* ホームページも見てね URLは <http://www.kochi-u.ac.jp/~wwwlife/index.html>

講座題目・講師一覧

月 日	時間	講座の内容と講師
	18:45 ~ 19:00	開 講 式
8月28日(金)	19:00 ~ 20:30	食卓を囲む家族 丸井 一郎 今年(2009年)発行された著書 "Catching Fire" の中で、ハーバード大学の人類学者リチャード・ランガムは、火による調理と調理された食物が人類の進化にとって決定的に重要な役割を果たしたことを論じている。火が通った食べ物は、生の物に比べて栄養価が飛躍的に高く、頑丈な顎と歯を不要にし、長大な消化器官を縮小させ、代わりに脳を大きくした。180万年の昔、焚き火を囲む直立原人(ホモ・エレクトゥス)の群れから、協調的でコミュニケーションの能力に長けた現生人類が進化してきた、との説である。西洋には「家族とは食卓を共にする人達のことである」という言い方がある。「食卓(炉、焚き火)を囲む家族」の始原は太古にさかのぼる。コミュニケーションと飲食から人の集まり(家族)を考える。
9月 4日(金)	19:00 ~ 20:30	納豆に学べ! ~自然のネバを社会に活かす~ 芦内 誠 納豆好きにはたまらないあのネバ。でも、なぜネバをつくるの?納豆のネバと同じものをつくる生き物はいるの?そのネバを使ってひどい環境にもうまく適応して生きているとしたら?納豆ひとつでいろいろな疑問が湧いてきます。 納豆ネバの正体、知りたくありませんか?実は『化学の目で見るとナイロンに似ている』としたら!ちょっと驚きませんか?石油資源の枯渇や地球環境の問題が叫ばれる中、ごくありふれた天然素材が救世主になるかもしれません。 本講演では、納豆ネバの正体「ポリ- -グルタミン酸」に焦点をあて、最新の活用技術を中心にお話します。
9月11日(金)	19:00 ~ 20:30	高血圧の予防と治療 高尾 俊弘 高血圧症は最も多い生活習慣病です。血圧は常に変動していて、特に早朝の血圧上昇は激しいので、寒い朝の散歩などは控えた方がよしいです。また、外来診察室の血圧だけでは1日を通した血圧の状態は分かりませんから、血圧を家庭で測定することが重要です。治療法には食事、運動、薬物療法があります。食事療法では減塩が重要です。日本人は平均で11gくらいの食塩を摂取していますが、高血圧の方は1日塩分6gを目指しましょう。また、野菜や果物に多く含まれるカリウムを摂取しましょう。さらにカロリーを控えめにして標準体重にすることが重要です。適切な運動は血圧を下げ、その他の動脈硬化の危険因子も改善します。食事・運動療法で血圧が正常化しない場合は薬物療法が必要になります。
9月18日(金)	19:00 ~ 20:30	子どもの心が育たない~集団行動がとれない子ども達~ 脇口 宏 不登校児、引きこもり、鬱状態の子どもが急増しているといわれる。イライラする、むしゃくしゃする、疲れている、生きているのが嫌になる、生まれてこなければ良かった、もう勉強したくないなどは、普通の子が普通に口にする言葉である。さらに、注意欠陥多動性障害、広汎性発達障害の子ども達は、周囲の無理解や攻撃的対応などが続くと40~50%が不登校や心身症に陥る。このような軽度発達障害、ADHD様の症状が、過度のIT機器との接触、愛着形成障害などによって誘発されることである。現代社会の陰と子どもがおかれている過酷な環境を考えてみたい。
9月25日(金)	19:00 ~ 20:30	淡水魚の地理的な違い~放流をどう考えるか~ 關 伸吾 「放流」という言葉を聞くとまず思い浮かべるのは、外来魚としてのブラックバスであり、ブラックバスの放流が元々その地にいた生物を減少させる可能性があるという問題は耳にしたことがあるかと思います。では、元々その地にいた種(例えばアユ)を吉野川以外の他地域から持ってきて放流した場合はどうなのでしょう?同じ種であれば問題ない?実はそこには、あまり意識されることのない種内の「地理的分化」が存在し、一般的な「外来種」以上の問題を引き起こす危険性もあるのです。ここでは、地理的分化とはどのようなものなのか、実際にいくつかの魚種を例にとってその存在価値を概説するとともに、環境保全や自然保護のための放流が、実は別の問題(遺伝的攪乱)を引き起こす危険性があることについて考えてみたいと思います。
	20:30 ~ 20:45	閉 講 式 (修了証書授与)